

（6）現地調査

ア．調査概要

気象庁本庁、東京管区気象台、長野地方気象台及び新潟地方気象台は、震度 6 弱から震度 5 弱を観測した震度観測点及びその周辺を中心に「気象庁機動調査班（JMA-MOT）」を派遣し、震度観測点の状況及び地震動による被害状況の現地調査を実施した。また、この調査を補足するため、気象庁地震津波監視課松代地震観測所が地震動による被害状況及び地表面象の追加調査を行なった。

イ．調査期間

平成 26 年 11 月 23 日～11 月 24 日（JMA-MOT）、27 日（松代地震観測所）

ウ．調査地域（震度観測点）

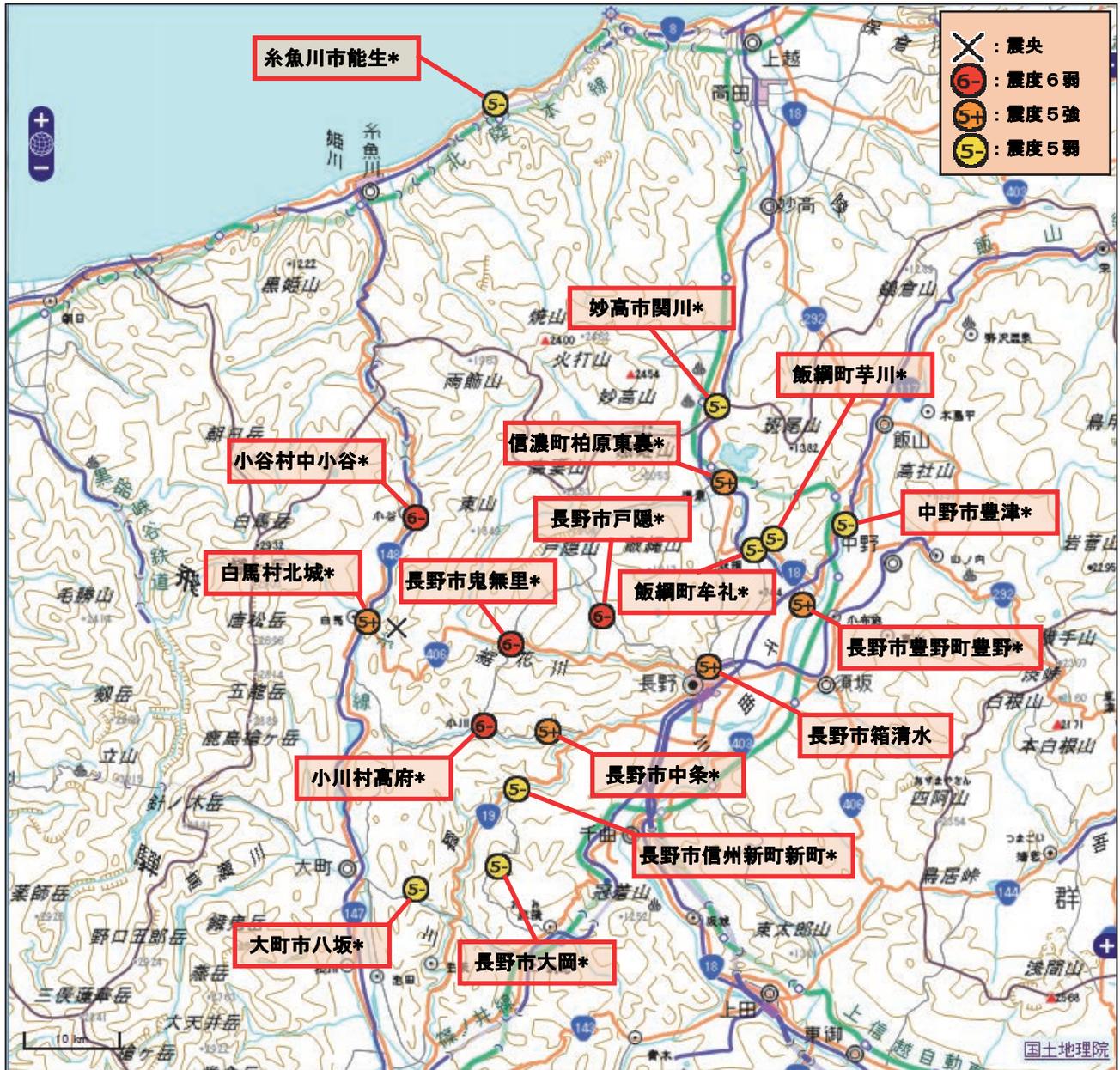


図 6-1 調査地域（震度観測点）
（*は地方公共団体もしくは（独）防災科学技術研究所の震度観測点を示す）

エ. 震度観測点の観測環境調査結果

観測環境の調査を行った全ての観測点で震度計台や周囲の地盤等に異常は認められず、適切に震度観測が行われていることを確認した。

オ. 地震動による被害状況

震度観測点から概ね 200m 以内の範囲で地震動による被害状況（屋外）の調査を実施したが、顕著な被害は確認できなかった。また、震度観測点からやや離れた地域で顕著な被害が報じられる等の場所を調査した。

（ア） 白馬村

震度 5 強を観測した白馬村北城震度観測点から南に約 5 km 離れた神城堀之内地区で家屋等の倒壊が目立った。また、路傍の地蔵像の倒壊が見られた。

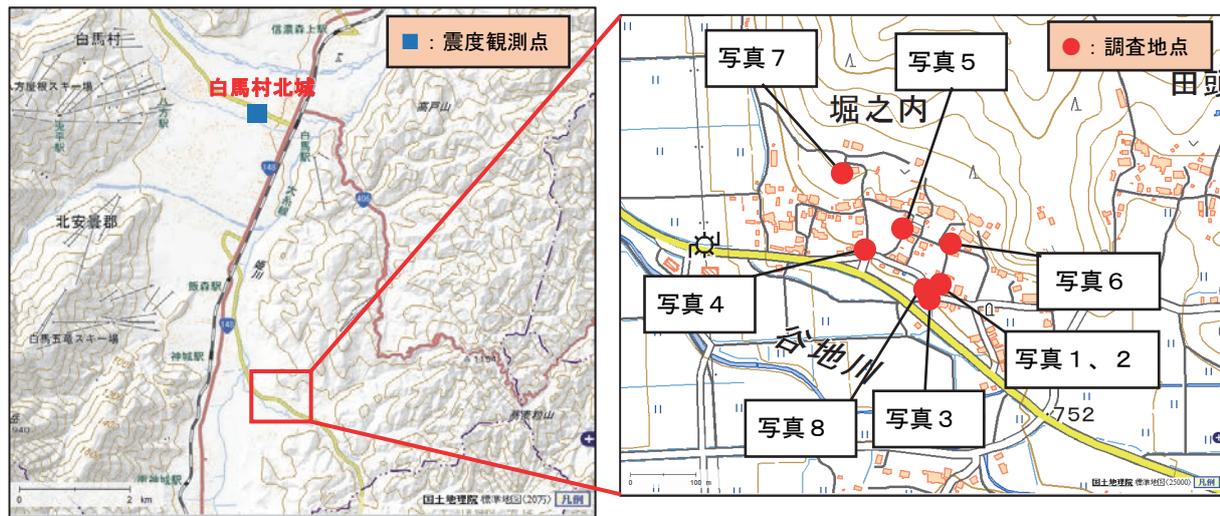


図 6-2 白馬村北城震度観測点周辺地図及び被害地域拡大図



写真 1 公民館の損壊（白馬村神城堀之内）



写真 2 公民館屋内の状況（白馬村神城堀之内）



写真 3 家屋の倒壊（白馬村神城堀之内）



写真 4 家屋の倒壊（白馬村神城堀之内）



写真 5 家屋の倒壊（白馬村神城堀之内）



写真 6 家屋 1 階部分の倒壊
（白馬村神城堀之内）



写真 7 家屋 1 階部分の倒壊
（白馬村神城堀之内）



写真 8 地蔵像の倒壊（白馬村神城堀之内）

（イ）小谷村

震度 6 弱を観測した小谷村中小谷震度観測点から北東に約 8 km 離れた真木地区で石垣上部斜面からの落石、家屋の壁の剥離、道路脇石垣の損壊、納屋の壁の剥離が見られた。

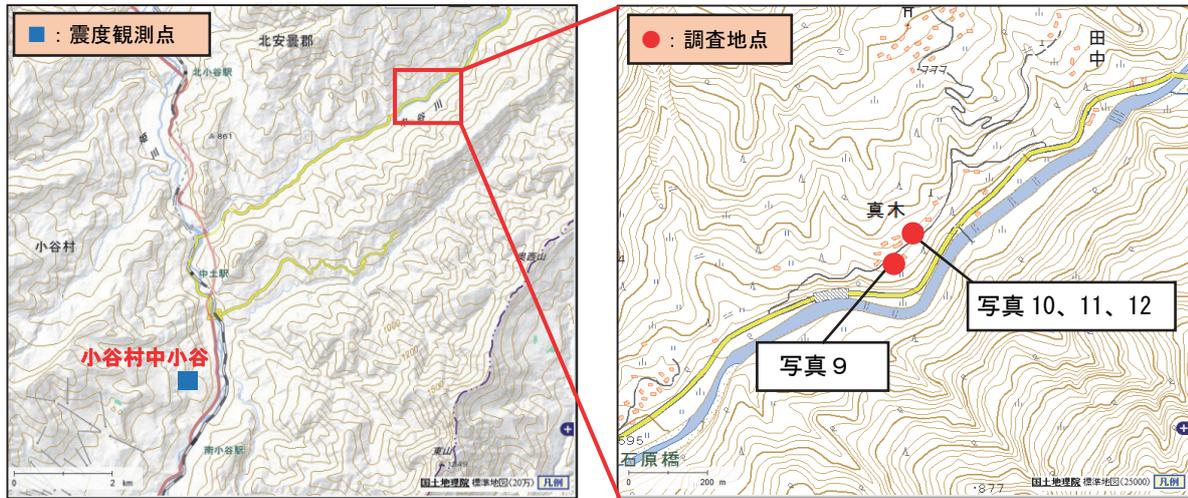


図 6 - 3 小谷村中小谷震度観測点周辺地図及び被害地域拡大図



写真 9 石垣上部斜面からの落石（小谷村真木）



写真 10 家屋の壁の剥離（小谷村真木）



写真 11 道路脇石垣の損壊（小谷村真木）



写真 12 納屋の壁の剥離（小谷村真木）

（ウ）長野市戸隠

震度 6 弱を観測した長野市戸隠震度観測点から南西に約 1.5km 離れた戸隠豊岡地区で道路への土砂崩れや山崩れがあった。



図 6 - 4 長野市戸隠震度観測点周辺図



写真 13 道路を塞いだ土砂崩れ
（長野市戸隠豊岡）



写真 14 山崩れ（長野市戸隠豊岡）

カ. 地表面象の調査

（ア）地表断層

松代地震観測所が白馬村内の調査を実施した結果、白馬村塩島地区では道路や小川を横断した断層を確認した。断層の走向は北北東-南南西で、変位は東上がりで最大 80cm 程度だった。なお、大学等の調査でも震源地付近で地表断層の出現が確認されている。

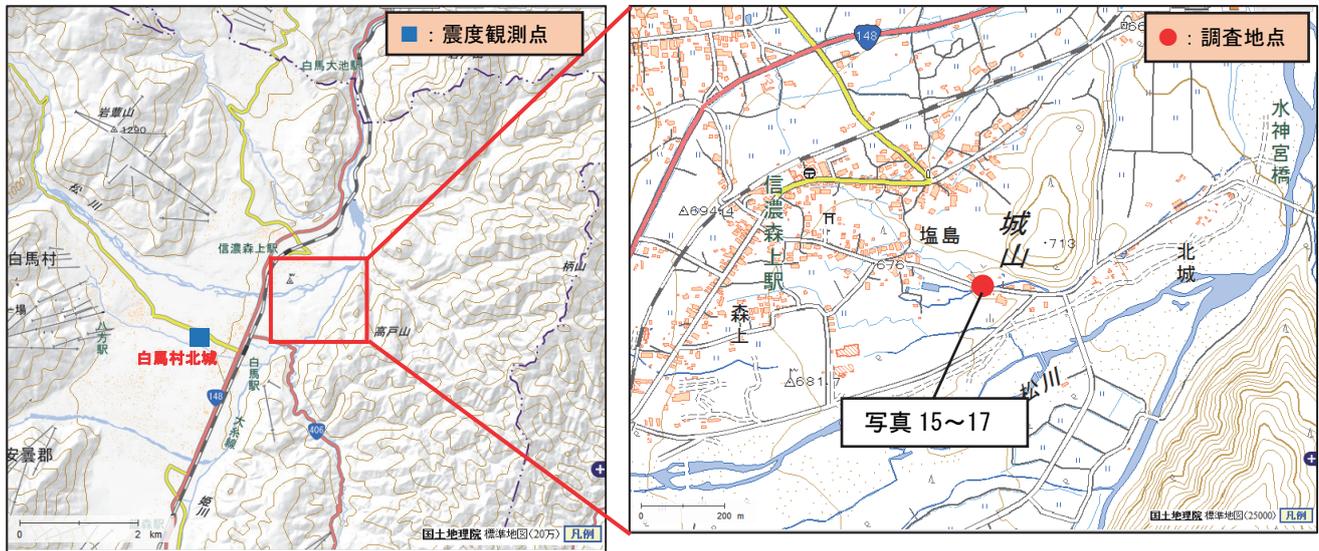


図 6-5 白馬村北城震度観測点周辺地図及び断層出現地域拡大図



写真 15~17 道路、小川を横断し、田、畑まで延びる断層（白馬村塩島、断層を破線で示す）

（イ）液状化

白馬村神城堀之内地区の県道 33 号線で、液状化によりマンホールが浮き上がっているのを確認した。

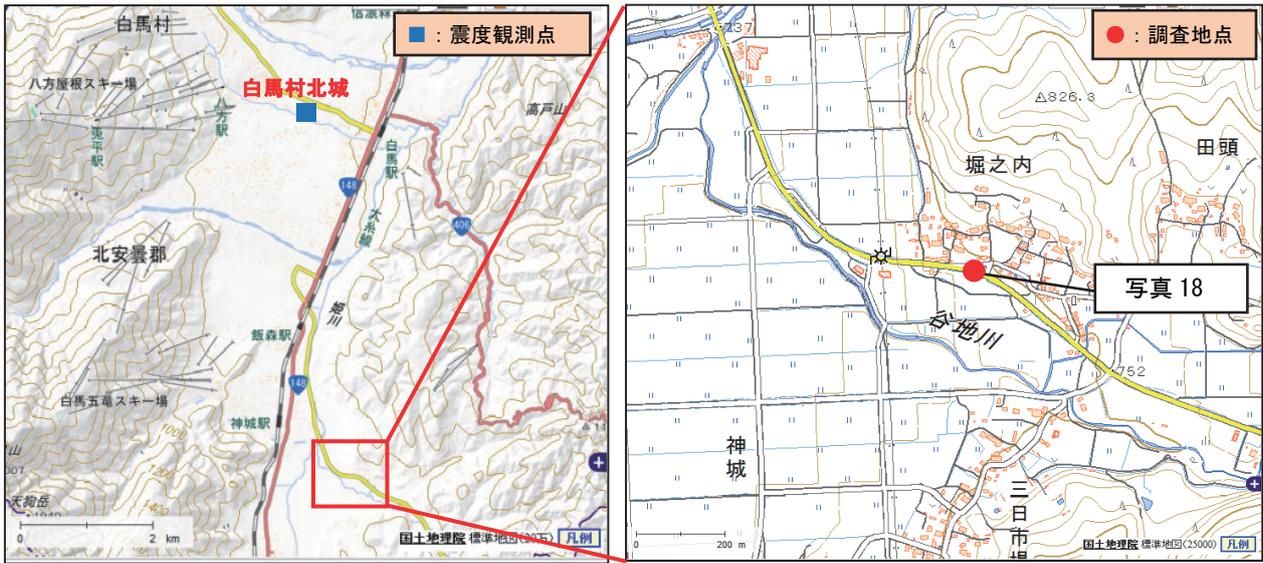


図 6-6 白马村北城震度観測点周辺地図及び液状化出現地域拡大図



写真 18 液状化により飛び出したマンホール
（白马村神城堀之内県道 33 号線）